

開講年度 2017 年

科目名	選択型 CC	単位数	授業形態	実習	科目ナンバリング	MACLI3601
英語表記	Elective CC					

● 担当教員

- ① 選択先施設教育担当医師（臨床教授、臨床准教授、臨床講師、その他教育協力医師）

● 科目の主題

診療参加型臨床実習の集大成となる。

1. プロフェッショナリズム
2. コミュニケーション力
3. 医学および関連領域の知識
4. 基本的総合診療能力
5. 科学的探究心
6. 教育マインド
7. グローバルシンキング
8. 大阪住民の幸福と発展への貢献力

の8つの実践的能力を、この最後の診療参加型臨床実習にて身につける。

● 授業の到達目標

《一般目標》

1. プロフェッショナリズム
2. コミュニケーション力
3. 医学および関連領域の知識
4. 基本的総合診療能力
5. 科学的探究心
6. 教育マインド
7. グローバルシンキング
8. 大阪住民の幸福と発展への貢献力

《到達目標》

1. プロフェッショナリズム
適切な医療面接を行うことができる。
適切な患者と医師の関係を築くことができる。
2. コミュニケーション力
患者、他職種医療職者、他医師と適切なコミュニケーションをとることができる。
適切な診療記録とプレゼンテーションができる。
3. 医学および関連領域の知識

医学および関連領域の知識に基づき、問題志向型システムを活用し、臨床診断推論ができる。
症候・病態からアプローチし、臨床診断推論ができる。

4. 基本的総合診療能力

バイタルサインを評価でき、全身状態を診断することができる。

患者中心のチーム医療に参加できる。

リハビリテーションに参加できる。

介護と在宅医療に参加できる。

5. 科学的探究心

科学的根拠に基づいた医療を実践できる。

6. 教育マインド

Teaching is Learning を理解できる。

同僚の医師に自らの経験と知識を伝え、それにもとづき議論と質疑応答ができ、その議論を通じ、自らも学びをえることができる。

7. グローバルシンキング

基本的な診療を英語で行うことができる。

8. 大阪住民の幸福と発展への貢献力

診療参加型地域医療臨床実習において、大阪府内地域の医療機関で実習し、大阪府内地域の医療の実情、特性を理解する。

● 授業内容・授業計画

12週間を6週間ずつ、前半、後半に分割する。原則は、前半6週間で1つの医療施設、後半6週間で1つの医療施設で、診療参加型臨床実習を実施する。国外の医療施設を選択することも可能である。

● 事前・事後学習の内容

4年生で実施した臨床スターター実習、5年生時に実施した診療参加型臨床実習で学んだことを、事前に自己復習する。事後も自己復習をする。

● 評価方法

すべての実習への出席を必須とする。担当者の評価（実習や討論への参加状況など）をもとに進級判定する。

● 受講生へのコメント

● 教材

● 対象学年

6年生

●コアカリキュラムへの対応

G 臨床実習

●その他

